



しいば 議会だより

第113号

令和6年1月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会
議会だより編集委員会
〒889-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL(0982)67-3209
村内無料電話7-67-0091



今年もよろしくお願いします。



- ・地域おこし協力隊との意見交換会…(2～4)
- ・一般質問 ……(6～9)
- ・12月定例会 ……(4～5)
- ・議員活動報告 ……(10～11)
- ・議会の動き ……(12)

(地域おこし協力隊との1枚)

地域おこし協力隊との意見交換会

12月5日に地域おこし協力隊の皆様と意見交換をしました。その冒頭の内容をご紹介します。

協力隊(ソートンマイク直樹さん)

地域おこし2年目のマイク・ソートンと申します。僕は基本的にeスポーツ、テレビゲームのプログラミング、ネットを題材にして、小学校、中学生を主に教育面でサポートできるように活動しています。



長谷川さん(左)とソートンマイクさん(右)

協力隊(長谷川 涼子さん)

昨年の8月に着任いたしました、長谷川涼子と申します。出身は山形市で、関東に20年ほどおりました、今回初めて椎葉村にやってきました。仕事が、Katerieの2階にある図書館ぶん文Bunの移動図書担当で、主に地域支援と学校支援という2つの柱で活動させていただいています。

協力隊(玉野 由子さん)

去年の11月から協力隊として椎葉に来ました玉野由子と申します。移住促進業務を普段は担当しているので、椎葉村の情報発信をしたり、あとは空き家の発掘をしたり、相談会とかフェアとか参加して外から人を呼び込む仕事をしています。



山之内さん

協力隊(山之内 裕信さん)

山之内裕信と申します。昨年の2月から着任、川の口地区で暮らしており、消防に入団させていただいたり、川の口神楽を舞わさせていただいたり、非常に皆様を楽しませていただいた1年間でした。自然のアクティビティ開発をしております。株式会社ヤママップさんと椎葉村が連携協定を結んでいて、自然を活かした観光人材を育成するというミッションで、その研修の主催とか、アウトドアアクティビティをどう開発するかというところで、日々頑張っております。

協力隊(藤江 開成さん)

4月からこちらに新卒としてやってきました、藤江開成と申します。椎葉村のKaterieの中のぶん文Bunという図書館に学生時代に惹かれて、現在は時を起こす司書という名前で、図書館司書として活動しております。実際に村の方がこれまで体験されてきた自身の記憶とか記録の話の伺って、残してアーカイブ化するとか、いつでもアクセスできるような形でデジタルアーカイブを進めていこうと考えております。

協力隊(高野 沙耶さん)

高野沙耶と申します。ミッションは、秘境de農業っていうミニトマト農家として就農するために、農業研修を受けています。



高野さん



森崎さん

協力隊(森崎 慎也さん)

森崎慎也と申します。出身が熊本県の八代で玉野さんと一緒に移住促進担当と椎葉村が所属している日本で最も美しい村連合の関係で広報をしております。移住も美しい村でも両方で対外的に発信して、この椎葉村の良さをわかってもらえるようにPRできるように努めているところです。

協力隊(森内 こゆきさん)

森内こゆきと申します。井上さんと一緒に学芸員をしております、7月に移住してきたばかりで出身は滋賀県、関西人なので関西弁が出る方が森内って覚えていただけると嬉しいです。椎葉に来る前は岩手県の遠野市というところで、ずっと研究をしていて、妖怪の研究をしていました。民俗学にすごく興味があって、今は神楽のシーズンでとにかく民

俗学者としては、価値のある魅力的なコンテンツがたくさんあるのが、素敵だなと思って日々暮らしております。

協力隊(井上 玉光さん)

井上珠光といいます。森内さんと同じく椎葉民俗芸能博物館の方で学芸員として働かせていただいています。主な業務としましては、博物館開館して約25年経って資料がちょっと古くなっているの、それを3年間かけて森内さんと一緒に入れ替えることと、特別展の開催です。柵尾展をやっております、柵尾地区に焦点を当てた展覧会特別展を開催しております。皆様がお住まいの地区もぜひ地区展やらせていただきたいなと思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。



井上さん(左)と森内さん(右)

議長(岡村 正司)

今、協力隊の皆さんから自己紹介、いろいろな話がありました。まず第1に椎葉に来て、どう今感じられましたか。

協力隊(長谷川 涼子さん)

椎葉に来て居心地のいいところだなんて今のところ思っております引越してきて、非常に住み心地がいいなということだと、街の音がしない。ウグイスの音が聞き放題、時々鹿なんかも見えたりして、すごく人が作ってないものは、何でもあるなというのが1番の印象です。



玉野さん

協力隊(玉野 由子さん)

祭り事や冠婚葬祭、全て集落の人たちみんなで作り上げることがとても主で、何か集落の関係性がとても近くて、それが街にないのでとても素敵だなと思って関わらせていただけて、とても楽しくさせていただいています。

協力隊(森内 こゆきさん)

私もそうですね。さっきもお伝えしたんですが、やっぱり焼き畑とか神楽とかが観光コンテンツとして、続けてるところっていうのは他の地域もたくさんあると思うんですが、例えば高千穂とかも観光客に見せるための神楽になっていって思うんですが、椎葉は生活の中に息づいているものとして、そのまま残ってるっていうのがすごい面白いなと思って、なんていうか、皆さん淡々とこなすというか。

協力隊(ソートンマイク直樹さん)

まず、仕事の面ですね。協力隊として考えているところは、まず協力隊の制度をすごい役場の方が理解してくださっていて、例えば活動補助金ですとか、そういったものを申請すれば大体こういうふうに使えば、有効じゃないかみたいな感じで、しっかりお話を聞いてくださって、しっかり自分のミッションに向けて最大限、他の全く別の負担をかけないように活動させていただいてるって率直に思ってます。

協力隊(藤江 開成さん)

実際に来てみて、僕としても自信を持って選んできた場所で、その目に狂いはなかったというふうに思って過ごしてます。いろいろ現実的に不便なところとかもあるかもしれませんが、慣れてしまえば全然苦にならないし、むしろそういう特色があるところ僕としては、面白いものがどんどん掘れば掘るほど見つかるので、毎日刺激的な生活を過ごさせてもらってるかつ、仕事が終われば新鮮な空気を吸って家に戻れるというところに喜びを感じて過ごしてます。



藤江さん

協力隊(山之内 裕信さん)

来る前は東京の世田谷の役所で働いていて、仕事の進め方がめちゃくちゃ気になってます。それは、文化がまた違うなと思っていて、資料を作って細かく回すっていう意味が、以心伝心みた

いな形でやっけていて、地区では、小崎小の倉庫の解体を皆の手でやるぞとか、信じられないことが結構多くて、それで回っている良さとか、前の役場と全然違うなってというのは、すごくギャップみたいなものは感じました。あと、驚いたのが、その議会の答弁でも入って1年目、2年目の人が答弁することにもものすごくびっくりしていて、課長じゃないと話することができなかつた文化だったので、若い人にもチャンスを与えている懐の広い環境なんだなっていうのはすごく感じます。

協力隊(高野 沙耶さん)

椎葉に住んでみて思ったのは、ここに来る前に沖縄の西表島っていうところに住んでいたんで、結構すごい。椎葉はちょっと田舎だと脅かされてドキドキして来たわりには、正直、結構都会じゃないのかなっていう印象でした。

協力隊(森崎 慎也さん)

私は椎葉村の移住者を対象に研究していたので、1年半ぐらい通っていたのですが、そのときの印象と大体、今住んでみて同じなので期待してた生活をしてる感じがします。具体的に言いますと先ほど森内さんが言ったような、その文化が生活に根ざしているとかは私がその修士でここにいたときに感じてたことだったので、実際に住んでみて今年は焼畑を見に行かせてもらったので、そういった他の地域ではもう継承されなくなってしまうものがあるっていうところの素晴らしさというところには感動しております。

協力隊(井上 玉光さん)

椎葉の方々には都会にいと資本主義の流れの中で、社会の情勢に流されないものをすごく改めて感じています。生活の中に根ざした文化に惹かれて椎葉にやっけてきて、実際にそうだなっていうことを生活の中で実感してるんですが、梶尾地区への梶尾神楽に参加させていただいて、本当にこれを10年続けるっていうだけでも、すごいことなんだなっていうのを身に染みて感じております。



第2回臨時議会

11月6日に開催。同意案件1件の提案があり椎葉村名誉村民に「椎葉晃充氏」が推挙され、全員一致で同意しました。前椎葉村長である同氏は平成9年に椎葉村長に当選以来、令和3年の6期24年の長きにわたり在職され、歴任中は宮崎県町村会長を務めるなど椎葉村の発展と広域行政や地方分権に尽力されました。この他、工事請負契約の議案1件が提案、可決されました。

第3回臨時議会

11月24日に開催。主に人事院勧告に伴う給与改定の一連の条例や補正予算が提案され、いずれも可決されました。

令和5年12月定例会

令和5年12月定例会が12月15日に開催。令和5年度一般会計及び特別会計の補正予算や桑木原辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更、また、工事請負契約など21議案が提出され、提案どおり議決されました。このほか、任期満了に伴う選挙管理委員及び補充委員が指名推薦により選任閉会しました。

令和5年度椎葉村一般会計予算(第8号)

歳入・歳出それぞれ3億1,381万3千円を追加し歳入・歳出の総額を102億6,106万6千円となりました。主なものは下記の工事請負契約によるものです。

工事請負契約7件(千円以下は切捨て)

○令和5年度 4年災 第90号 普通河川耳川水系 水無川
河川災害復旧工事
契約の金額 6,303万円
契約の相手 株式会社久間組 代表取締役 久間靖幸



○令和5年度 4年災 第91号 普通河川耳川水系 水無川
河川災害復旧工事
契約の金額 9,020万円
契約の相手 株式会社久間組 代表取締役 久間靖幸



○令和5年度 4年災 第1302号 村道尾前下線・小原橋
橋梁災害復旧工事
契約の金額 6,490万円
契約の相手 旭建設株式会社 代表取締役 黒木繁人



○令和5年度 4年災 第1377号 普通河川耳川水系 内の八重川
河川災害復旧工事
契約の金額 6,484万円
契約の相手 株式会社相生組 代表取締役 相生秀樹



○令和5年度 4年災 第1380号 普通河川耳川水系 大久保谷川
河川災害復旧工事
契約の金額 6,061万円
契約の相手 株式会社甲斐建設 代表取締役 甲斐秀樹



○令和5年度 4年災 第1390号 村道大久保線 道路災害
復旧工事
契約の金額 6,897万円
契約の相手 株式会社甲斐建設 代表取締役 甲斐秀樹







○令和5年度(令和4年度繰越) 林道十根川～三方界線8号箇所
林道施設災害復旧工事
契約の金額 9,416万円
契約の相手 株式会社尾前建設 代表取締役 尾前和博



選挙管理委員に選ばれた方々

(任期: 令和5年12月20日～令和9年12月19日)

○選挙管理委員会委員

 <p>しいば いさむ 椎葉 勇さん 椎葉村大字大河内1873番地</p>	 <p>しいば やすこ 椎葉 安子さん 椎葉村大字下福良1692番地</p>
 <p>しいば てるき 椎葉 輝基さん 椎葉村大字下福良1739番地17</p>	 <p>しいば ひろみ 橋本 浩美さん 椎葉村大字下福良1820番地5</p>

村長に聞く!

～ 一般質問 ～

定例会では、椎葉一議員、椎葉智成議員、河口吉弘議員、那須重美議員、尾前秀久議員による一般質問があり、高齢化社会に対する技術の導入や後継者問題、課題解決に向けた予算の在り方や情報格差への対応、さらには、有害鳥獣に対する椎葉村の考え方について質問しました。



質
問

高齢化社会に対するAI技術や機械機器の必要性について

しいははじめ

椎葉 一 議員

問1

農林業、介護医療業
務その他多くの職種

が人材・労働力不足は増加傾向にある。ドローンを使用した農業では、肥料・農薬散布、林業では測量調査、資材運搬等多くの作業利用ができる。また中腰作業や腰痛防止負担軽減等を補助するマッスル・パワーアシスト使用により歩く・上げ下げ・しゃがむ・立ち上がる動作を守るサポートジャケットが研究開発されている。行政で利用方法、補助事業等での検討はできないか。

答1

地方の過疎化、貧富の格差などの課題や問題点を克服する手段としてロボットや自動走行車等課題解決の1つの手法と期待されている。農業分野ではスマート農業の効果として農業用アシストスーツを使用して持ち上げ、運搬作業等の軽量化により高齢者のサポートが可能と考えている。林業分野では、スマート林業の取組としてドローンでのレーザー測量調査、解析データによる路網整備、森林整備等への活用が期待できる。大型ドローンでの苗木、資材運搬は本村の耳川広域森林組合が実証試験している。福祉分野では介護老人福祉施設に3種類の介護ロボットが導入されて



いる。今後介護人材の確保が困難な状況にあり、さらに介護ロボット、ICTテクノロジー導入、介護現場の向上に積極的に取り組んでいく。

問2

椎葉村は、高齢化が更に加速し現場で働く人材育成

が急がれる中で、スマート農業の実用試験としてドローンでの薬剤散布をしている。ドローン機器は個人所有で薬剤散布をしており、行政で機械銀行等考慮して実証実験はできないか。



林業分野では実証実験が森林組合で行われている。労務軽減、労災リスクの効率化、急傾斜地の再造林推進などの利点がある。アシストスーツを利用して、農林業の作業で身体的負担を軽減する事ができるのか検証して欲しい。介護施設では、職員の身体的負担があり、アシストスーツを使用して作業全般の負担軽減できるのか現場で働く声を聴いてほしい。

答2

それぞれ農業、林業、介護の現場においてドローン活用、マッスルスーツを使用しての効果が上がるものは、実現に向けて積極的に判断し整備していきたい。

問3

椎葉村林政審議会、椎葉村森林林業ビジョン策定委員会、椎葉村スマート林業推進協議会が設立され実証実験が行われる。資材運搬ドローン、アシストスーツ、苗木の被覆保護資材の実用試験など、また、他の自治体でAI技術を利用して野生動物の餌付けし、捕獲して頭数減を試験的にしている。椎葉村でも新しい捕獲方法を考えて欲しい。アシストスーツについては全職種において検討頂きたい。

答3

AI技術を使用しての鳥獣被害対策については、今後検証し取り組んでいきたい。ドローン、アシストスーツについては、椎葉村の地形や状況を踏まえ全ての産業において検討していく、アイデアを出しながらいろんな面で利活用していく。



質問 後継者対策について

しいばともなり

椎葉智成 議員

問1 現在、村の人口は2,300人を下回っている現状である。国の人口動態率の推計では2040年には現在の約半数近くになると予想されている。今後、椎葉村が生き残るためには独自の振興策を図って、村の活性化に繋げるべきだと考える。村行政として現状と将来を見通す中でこの問題に対し、どう具現化なされていくものか伺いたい。

答1 最大の課題は人口減少対策である。施策として椎葉村総合戦略に基づく、Uターン促進であるが、この総合戦略に付随する人口ビジョンにおいて2020年時点では、総人口で25人、生産年齢人口で16人、14歳以下で2人が目標値より上回っている。一方出生数に影響を及ぼす10～34歳は目標値を下回っており、この世代の人口減少抑制対策が特に重要である。

人口ビジョン達成においては、総合的な見地から産業、文化、地域維持等の担い手確保対策を、それぞれの問題点、対策を出しながら総合的な施策をまとめ、一体的な取り組みが重要だと考える。スピード感と積極的なチャレンジが必要であり、高い意識で取り組んでいく。

問2 ①地元の若者達の定着化に対し、仕事の安定が不可欠である。何らかの支援ができないか。

②若者を始め、移住者の方の独身者が多く感

じる。婚活の支援に力を入れたらどうか。

③住環境の整備についても緊急課題として位置づけてもらいたい。

答2 ①Uターン者が非常に少ない。働く場所はあるのだが、働き手がない状態である。我々としても色々な制度を持っている、制度の拡充やPRが足りないのか、Uターン者を導いていくことに注力していきたい。

②子育て環境は様々な対策を練っているが、婚活結婚が再度のスタートではないかと思う。婚活支援はお嫁さんいらっしやい推進協議会もあるが、いろんな面で想像していきたいと思う。

③住宅対策については来年度の重点施策の柱として考えている。

問3 人口2000人を割るのは時間の問題である。村の財政運営にも大きく影響があり、地域の伝統文化を守るのも大変な時期である。今後の成果に期待したい。

答3 新年度の予算を策定中である。何か希望が持てる、Uターンしてみようかと思えるような支援策やアイデアがあったら予算編成の中で考えていきたい。人口減少は今後も、行政の課題として、何らかの対策、みんなでこの椎葉村を守っていくという立場で進めてまいりたい。



質問 課題解決のための新年度予算編成方針を問う課題は

かわぐちよしひろ

河口吉弘 議員

問1 村は少子・高齢化、人口減少という待ったなしの困難な課題に直面している。農林畜産業や観光業における後継者不足や建設業、福祉関連職場の人手不足など。新年度予算

編成に当たり、課題解決のための重点施策をどのように考えているのか。

答1 5つの具体的な重点施策を推進していく。1つには人口減少対策、Uターン促進施策。2つ目は、子ども子育て施策に更なる推進。3つ目は、基幹産業である林業施策の更なる推進。4つ目は、高齢者福祉の更なる拡充。最後に住宅不足の解消に重点的に取り組むが、具体的な施策については当初予算で示したい。

問2 5つの重点施策を推進するとのことだが、施策について具体的にお示しいただきたい。

答2 これまでのUターン、子ども・子育て、林業振興策に加えて高齢者福祉対策と住宅不足解消を加え、5つの施策を進めていく。

問3 75歳以上の後期高齢者は、75歳になった途端にこれまで世帯主が納付していた国民健康保険税から後期高齢者医療保険料に変わり、本人の年金から天引きされ、直接的に本人の負担増となる。高齢者に感謝の気持ちを表す温かい施策が必要ではないか。

答3 何らかの対策をとということで担当課と話を進めている。現時点では、平寿園の介護人材確保という新しい施策を講じていきたい。高齢者福祉施策を柱に当初予算で訴えていきたい。

問4 国は臨時国会補正予算で住民税非課税世帯に対する1世帯7万円の臨時給付金を支給する予算を決定した。本村の対象世帯は500数十世帯だが、住民税課税世帯の中には住民税非課税高齢者も居り、この方々への支援をどのように考えているのか。

答4 課税世帯の高齢者に対する支援については、国の施策動向を注視していく。

問5 臨時給付金は住民税非課税世帯の453世帯が対象。この物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による給付金は国予算で1兆1000億円、この給付金以外に5000億円の物価高騰に伴う低所得世帯支援や消費の下支え生活支援としてプレミアム商品券発行の推奨事業枠がある。推奨事業による高齢者支援を行なう考えはないか。

答5 国の推奨枠5000億円について、椎葉村は1500万円を申請している。専決予算(補正予算)により、全世帯に配ることを考えている。

問6 中核的農林畜産業の後継者問題や経営状況の実態調査による対策が必要ではないか。

答6 中山間地域等直接支払制度に参加している農地を対象に、アンケート調査を実施、地域計画を6年度中に策定する。後継者育成については、施設整備は国・県事業を活用し、該当しないものについては村独自の事業を活用、Uターン者の基盤整備を図る。地域おこし協力隊1名が就農、1名を研修生として受け入れている。林業については、みどりの青年就業制度など担い手育成確保対策事業などの対策を実施している。

問7 後継者対策を立てる場合、実態と将来への意向調査が不可欠であると思うが。

答7 対策について実態調査は不可欠。その姿勢で臨みたい。

問8 早急な旅館・民宿の事業継承の取り組みが必要ではないか。また、商店がない地区の不便解消のための新たな仕組みづくりをどのように考えているのか。

答8 商工観光振興対策については、商工会など関係機関で議論しており、事業者意向ヒアリングや事業承継の支援などを行なっている。既存の旅館・民宿の形態だけでなく、簡易宿泊やゲストハウスを含めて考えており、事業承継や起業が生じた場合は積極的に支援していく。移動販売は仕入れ経費や労力負担、売れ残りによる販売ロスなど様々な問題がある。仕入れ、経営指導など幅広い支援は必要であると考えており、施策について商工会と議論している。

問9 村づくりの基本理念「かえりたい郷で生きていく」の実現は庁内一課一係で実現できるものではない。職員の知恵と力、発想による施策研究チームを立ち上げ、課題解決に向けた取組を提案する。村長の見解を。

答9 県市町村振興協会が実施している職員自主研究グループ支援事業を活用して6年度に実施する。市町村振興協会の枠に外れても単独で実施する。





質
問

村民による情報格差 (デジタルデバイド) の対応について

なすしげみ

問1 高齢者のデジタル社会にむけた意見や要望を収集し、政策に反映させるための仕組みが必要と考えるが、このデジタル化についてどのように認識しているか。

答1 総合戦略や長期総合計画において、Society(ソサエティ)5.0 や地域社会のデジタル化の推進について掲げている。計画策定段階で幅広い方々から意見聴取を行い、計画及び政策策定に取り入れたい。

問2 情報弱者に対するデジタル化についての認識、現状をどのように理解しているか、再度伺う。また、実態について調査、意見や要望を収集し、政策に反映させることが急務である。今後、どのように収集し、どのような政策が考えられるか、2点について伺う。

国や県の政策を活用し不足する点について対応していきたい。紙面やかてーリネット、11チャンネル、やまびこ放送などにより、様々な形で情報を得られる配慮が誰一人取り残さないというものであると考える。

問3 情報弱者となりうる村民がデジタル化社会に参画するためのサポート策をどのように進めているか、また、対策をしていないなら、今後どのように進めるか見解を伺う。



答3 DX推進については、ワーキンググループでの会議を実施している。現在は、行政業務を中心とした内容が検討内容の中心。今後は、地域社会へのDXへ展開できればと思っている。今後、それぞれの状況によって不利益や格差が生じないように配慮しながらデジタル技術を積極的に活用していく。

問4 第6次長期総合計画では、デジタル化の目標値も2026年までに高く掲げている。人材確保による庁内の推進体制づくりが重要と思われる。情報化推進委員会といった組織の設置も早急に必用と考えるが見解を伺う

答4 対策等、議員の言われる委員会の設置も必要かと思うので、さらに検討を進めていく。

まとめ: 今後とも高齢者いわゆる情報弱者に対して、十分な対策をお願いする。



質
問

有害駆除に対する 椎葉村の考え方 について

おまえひでひさ

問1 有害駆除で一番有効なのは猟犬又猟銃を用いての駆除である。しかし、この駆除では年々費用が増加している、補助金の増額を望む。「猪」現行8,000を10,000円に「鹿」12,000を15,000円に。

答1 現在、一番に災害復旧に向けて取り組んでいる。その財源確保に厳しい状況であり、現況のままでご協力を頂きたい。

問2 あらゆるところで、鹿、猪が見られるようになった。駆除員が増えていくならまだしも、高齢化も相まって厳しい状況の中で獣害は増える一方である。増額を願う。

答2 報奨金は、平成28年より下がっている。捕獲数も減ったことは確かであり、林地崩壊にも大きく影響することから、厳しい財政状況の中にあっても真摯に耳を傾けることも大事なことと考える。

問3 他の町村では上乘せの補助金をしているところもある。心配は後継者であり、温暖化もあり、獣害が増える一方で、駆除員をどう増やすか、また駆除員がいるうちに後継者増のためにも、取り組みやすい環境を整備してほしい。

答3 駆除員が高齢化そして数が減っていくと本当に危惧される。当初予算にてこの質問を大切なものと捉え、予算編成に取り組みたい。



議員活動報告

各地区との意見交換会の実施

議会基本条例制定に伴い、議会改革を基本とし、議会活動の充実と村民の付託に応えることを目的に各地区との意見交換会をスタートした。去る、11月7日に梶尾区、12月7日に大河内区を実施し、二地区から台風災害の早期復旧、インフラ整備、通信網の早期整備など多数の意見が出された。残り8地区においても計画的に実施していくことを確認した。



宮崎県三村議会協議会総会

○森林環境譲与税の配分基準見直しの要望を追加!

令和5年11月2日、西米良村・諸塚村・椎葉村の宮崎県三村議会協議会総会が宮崎市で開催された。総会では、三村が共通して抱える国・県道の早期改良整備促進や有害鳥獣被害対策、森林・林業・木材振興対策、遠隔地域の中・高等教育の教育費負担軽減策についての要望に加え、森林環境譲与税の配分基準の見直しを追加要望することを採択した。



現行の配分基準は、私有林や人工林面積に応じて50%、林業従事者数20%、自治体人口30%となっており、多くの森林面積を有する山間部は森林整備の費用に不足が見込まれ、譲与税の配分基準を見直すよう知事に要望書を提出することを全員一致で採択した。

大河内地区道路災害の現場視察調査

村道大河内～桑木原線1385号・林道渡川～大藪線7号箇所・国道265号飯干箇所の道路災害復旧工事現場3ヶ所の視察調査を行った。大藪線は、災害規模が甚大であり道路復旧が終わればそれから砂防ダムを2～3ヶ所建設予定との事で数年かかると考える。国道箇所では上部工は年内完成するが、路側工が手付かずの状態であり完成時期が未定の状況である。村道桑木原線は建設課の説明24年1月末の通行可能を目標としおり、大河内の地区住民の上椎葉への通勤・アクセスが少し楽になるようである。椎葉村での台風災害の復旧事業はもう少し時間がかかりそうである。



日隈副知事と議会の意見交換会

昨年の暮れ12月21日に日隈副知事に椎葉村に来村いただき、議会との意見交換会を行った。副知事より県政の重点施策として新たに取り組んでいる3分野日本一プロジェクトについて詳細な説明がなされた。

【日本一プロジェクト】

- 1 子ども・若者(子育て支援、婚活イベント)
- 2 グリーン成長(再造林・・・林業県トップでの取り組み)
- 3 スポーツ観光(スポーツランド推進、観光経済交流)

また、地方創生・人口減少問題を取り上げ、椎葉において新たな産業の開発として、全国で成功している事例を挙げられ、人を引き付け村に金を落とすビジネスの展開について話された。意見交換では「早期の災害復旧に対する支援」「各基幹産業に置ける課題解消」「森林環境譲与税の使途」など、本村における課題策についての意見が交わされた。



国土交通省(延岡河川国道事務所)講話傾聴 (延岡市/12月26日)

12月26日に延岡市の延岡河川国道事務所において以前に所長より道の駅構想について、椎葉も視野に入れている話しを聞き、村長、議長、副議長、常任委員長事務局長で伺った。内容としては「目的と機能」「整備フロー」「設置者、登録方法」「登録要件」「整備をする場合の交付金等の事例」について説明を受け、本村としての取り組みには設置面積、箇所など課題があると感じた。



NTT ドコモ要望活動

WiFi機器PicoCELAの以前のご提案

被災者が自ら安否の確認・情報の収集し、安心できる環境を整備
自治体の外部といかなる場合も確実に連絡ができ、迅速に効率的に情報のやりとりができる環境の整備

※2022年度は14号被災時に、WiFiでLINE通話を使って、外部連絡手段のバックアップとしてWiFiを活用されたとお聞きしています
※県内の自治体にも提案中です

しかし、被災時は光回線も切断される
モバイルの電波も入らなくなる

PicoCELA × Starlinkの実証について

**12/21に販売を開始したStarlinkとPicoCELAを組み合わせ
全国で最初の実証を1月下旬～に椎葉村で実施予定**

実際の被災時の設置・運用を想定した実証ができるように
総務部 尾崎さんにご協力をお願いし具体的な日程を調整中

12月26日にNTTドコモの宮崎支店に村長、議長、副議長、常任委員長、局長、地域振興課長、区長(不土野・尾八重・杵尾)10名で「移動通信サービス(携帯電話)使用範囲拡大」について要望書を提出した。意見交換では本村の実情について、真摯に検討し本社と情報共有し課題解消に向けて取り組んでいくとの回答であった。その中で山間部における迅速かつ効果的に情報のやり取りができる環境整備を考え、新たな機器を組合せた全国初の実証を、近く椎葉村で実施予定であると聞き、通信エリア拡大に向けて希望が見えてきたと感じた。



議会の動き

各委員会報告

11月	2日	第2回議員定数に関する調査特別委員会	委員会室
	2・3日	三村議会協議会総会	宮崎市
	6日	第2回村議会臨時会	議場
	7日	柵尾地区との意見交換会 (議員定数調査特別委員会)	柵尾の館
	15・16日	県町村議会議長会幹部議員研修会	宮崎市
	20・21日	上球磨・西米良村・椎葉村正副議長会	多良木町
	24日	第3回村議会臨時会	議場
	27・28日	県町村議会議長会議会広報研修会	宮崎市
12月	28・12月1日	議長全国大会及び県選出国會議員との意見交換会	東京都 (NHKホール)
	5日	地域おこし協力隊との意見交換会	委員会室
	7日	大河内地区との意見交換会 (議員定数調査特別委員会)	大河内生活改善センター
	15日	村議会12月定例会	議場
	20日	郡町村議会議長会臨時総会・事務局職員研修会	日向市
	21日	日隈副知事との意見交換会	委員会室
1月	26・27日	延岡河川国道事務所勉強会及びNTTドコモ要望活動	延岡市・宮崎市
	4日	令和6年椎葉村「二十歳を祝う会」	開発センター講堂
	5日	新春賀詞交歓会	開発センター
	6日	村消防出初式	椎葉小グラウンド
	18・19日	椎葉五家荘線県道昇格促進期成会総会及び要望活動	八代市
	24日	子牛初セリ市及び宮日新聞日向支局・夕刊デイリー日向支社訪問	延岡市・日向市

○総務文教常任委員会所管事務調査報告書

(ICT活用公開授業見学)

令和5年12月6日に椎葉小学校においてICTを活用した公開授業、へき地教育研究大会公開授業が行われた。私たちの時代の学校教育との違いを特に感じ、どの学年も研究主題である「未来を切り拓く心豊かでたくましい子どもの育成の言葉」のように自らが未来に向けて主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見、解決力、表現力などを備えた人材育成が求められていくことも今後の学校教育のあり方だと捉えたところである。

○産業福祉常任委員会所管事務調査報告書

(村道認定路線現地調査)

12月4日、松尾地区村道蟬の尾線4,838mの再認定現地調査を実施し、認定が適当であるとなりました。当該路線は令和4年9月の台風14号により決壊、応急的に付替復旧した道路を村道として認定したものである。なお、村道決壊下流域蟬の尾下流には5世帯の人家があり、山崩れ災害防止のための治山工事等についての対策が必要であることを申し添えた。

▶椎葉村議会テレビ生中継

3月定例会は3月6日開会予定となっております。

お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)

ぜひ傍聴にお越しください。

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

令和5年12月定例会が15日に開催され、一般質問には5名の議員様々な課題に対する質問が行われた。また予算も2億5,600万円の災害復旧の追加補正予算など補正後額が総額で100億円を超える予算となった。復旧工事も村内外の業者によって1日も早い復旧に向けた取組がなされているが、その災害の大きさから長期間を要することも事実であり、未だに遠回りとなる迂回路を利用せざるを得ない地区もあり1日も早い復旧が待たれる。

令和6年のこの年が椎葉村にとってまたすべての村民にとって、穏やかで最良の年となりますようお祈りを申し上げます。